

【Update Short Report】

| Company |

株式会社 多摩川ホールディングス

| Code |

6838 : ジャスダック
JASDAQ

| Analyst |

C&A 首席シニアアナリスト
C&A Senior Analyst

叶 一真
Kazuma Kanou

| Date of Issue |

5/21/2019

Ver : 20190521-2

C&A

C&A Investment Research

【Update Short Report】

【決算概要】

V字回復、大幅増収増益達成

大幅増収増益(予想)

(営業利益 3.4 倍の 5.2 億円)

3,500 円を目標株価に Strong Buy で UP-Grade

【目標株価】

3,500 円

(5/21/2019 現在)

(12/20/2018:2,750 円)

(7/2/2018:2,500 円)

【レーティング】

Strong Buy (UP-Grade)

(5/21/2019 現在)

【業績予想】

2020/3 期 (会社予想)

売上高 : 5,699 百万円、営業利益 : 524 百万円、

経常利益 : 372 百万円、当期純利益 : 319 百万円

(5/21/2019 現在)

【テーマ】

EDGs・ESG、ディフェンシブ、国家戦略(国策)、再生可能エネルギー、太陽光発電所、風力発電所、グロース、5G、IoT、アナログ高周波無線、グローバルニッチ、残存企業

(5/21/2019 現在)

【決算コメント】

【決算概要：2019年3月期】V字回復、大幅な増収・大幅な増益を達成

同社は、2019年5月21日に2019年3月期の決算を発表した。売上高：3,841百万円（対前年増減率+18.0%、増減額+586百万円）、営業利益：153百万円（対前年増減率+187.7%、増減額+100百万円）、経常損失：▲79百万円（前年同期▲63百万円、増減額▲16百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益：128百万円（前年同期▲146百万円、増減額+274百万円）と大幅な増収増益であった。注目すべき点は、営業利益が約2.9倍と大幅に増加していること、ならびに親会社株主に帰属する当期純利益が▲146百万円から128百万円、金額にして274百万円増加、V字回復・黒字化を実現していることである。同社保有の2発電所（かすみがうら市加茂発電所、袖ヶ浦林発電所）の売却益が固定資産売却益として240百万円が特別利益に計上されているが、同社の事業内容からして本来なら売上高として計上されるべきものであることから、営業利益は7.4倍の393百万円（対前年増減率+641.5%、増減額+340百万円）、経常利益：161百万円（前年同期▲63百万円、増減額+224百万円）を本来の実績値として捉え業績判断すべきであろう。

【業績予想：2020年3月期】大幅な増収・大幅な増益(営業利益3.4倍の5.2億円)

同社は、2019年5月21日に2020年3月期の業績予想を発表した。売上高：5,699百万円（対前年増減率+48.4%、増減額+1,850百万円）、営業利益：524百万円（対前年増減率+242.2%、増減額+387百万円）、経常利益：372百万円（前年同期▲79百万円、増減額+451百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益：319百万円（対前年増減率+148.7%、増減額+191百万円）と大幅な増収増益を見込んでいる。注目すべき点は、全てのセグメント（電子・通信用機器事業、再エネシステム販売事業、再エネ発電所事業）において大幅な売上増を見込んでいることである。

同社子会社の多摩川電子は1968年創業以来、高周波無線技術を基幹技術とし、高周波回路素子事業を軸とした、光応用製品、ミリ波帯域製品、デジタル・ソフトウェア関連製品などの開発・製造を行っていることから、5G需要の本格化による受注、海外向け受注の増加等が大いに見込めるであろう。

再生可能エネルギー事業において、小型風力発電所事業や小水力発電事業など、太陽光発電以外の再生エネルギーを活用した発電システムの開発・販売も視野に入れ取り組んでいること、受注済み発電所の売却や安定収益源である発電所の稼働が順調なこと、所有する太陽光発電所の売却も検討していることから、今期会社予想は大いに達成するであろう。

(注目すべき取り組み)

事業拡大に向けた取り組みとして、小型風力発電所事業や小水力発電事業など、太陽光発電以外の再生エネルギーを活用した発電システムの開発・販売も視野に入れていること、東北大学との産学連携の取り組みとして内外で拡大する自然エネルギー(太陽光、風力、バイオマス、温泉熱他)分野での余剰電力を利用した移動体搭載 IoT デバイス向け蓄電池評価等の共同研究等は、今後の事業拡大へつながる取り組みとして大いに期待できるであろう。

レーティング基準について

以下の定義に基づいてレーティングを付与しています。

Strong Buy

今後1年以内に株価がTOPIXを30%以上アウトパフォームすると予想する

Buy

今後1年以内に株価がTOPIXを10%以上アウトパフォームすると予想する

Neutral

今後1年以内に株価がTOPIXを中心に±10%未満の変動と予想する

Sell

今後1年以内に株価がTOPIXを10%以上アンダーパフォームすると予想する

留意事項

本資料は、情報提供のみを目的として各種のデータに基づき作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがあります。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。なお、C&A Investment Research. 及び、同関連会社の社員、役職員又はその家族はこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。この資料の著作権はC&A Investment Research. に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。